

【石垣市中小企業振興会議】 議事概要

■開催日時：令和6年3月25日（月）

14時00分～15時30分

■開催場所：石垣市役所1階 コミュニティルーム

出席者

所 属		備 考
石垣市	中山 義隆	会長 欠席
石垣市商工会 会長	大濱 達也	副会長
沖縄県中小企業家同友会八重山支部 支部長	宮良 高彰	
石垣市中央商店街振興組合 理事長	金城 広重	
八重山建設産業団体連合会 会長	米盛 博明	欠席
石垣市観光交流協会 副会長	高橋 秀明	
八重山青年会議所 理事長	砂川 直毅	
沖縄県農業協同組合八重山地区本部 本部長	石垣 信治	欠席
八重山漁業協同組合 組合長	上原 亀一	代理：専務理事 伊良部 幸吉
八重山公共職業安定所 所長	内野 和久	
飲食業生活衛生同業組合八重山支部 支部長	大野 等	
沖縄振興開発金融公庫八重山支部 支店長	仙野 健	
琉球銀行八重山支店 支店長	比嘉 一史	
沖縄銀行八重山支店兼石垣出張所 支店長	前田 晋	代理：次長 松原 尚哉
沖縄海邦銀行八重山支店 支店長	島袋 秀人	代理：融資主任 阿波根 健
マックスバリュやいま店 店長	前仲 一彦	欠席
石垣市 副市長	知念 永一郎	欠席
石垣市 総務部長	翁長 致純	
石垣市 企画部長	嶋田 廉	
石垣市 建設部長	運道 徹	欠席
石垣市 農林水産商工部長	棚原 長武	
石垣市 市民保健部長	大城 智一朗	欠席
石垣市 福祉部長	南風野 哲彦	
石垣市教育委員会 部長	天久 朝市	欠席
事務局		
石垣市農林水産商工部 商工振興課長	多宇 直之	
畜産課長	本原 弘也（臨時出席）	

商工係長	東嘉弥真 優美
商工係 主任	登野城 絵奈
物産振興係 主査	仲里 洋祐
会計年度任用職員	福里 尚哉

1 開会

石垣市中小企業振興会議 副会長 大瀨 達也

2 説明

事務局

資料 1、資料 2（参考資料）、資料 3 の説明

3 意見交換

副会長
大瀨氏

これより意見交換を行います。

事務局からの説明等も意見交換の中でご質問していただけたらと思います。

では最初に、人手不足の件からハローワーク所長

公共職業安定所
内野氏

石垣市の有効求人倍率は、1 月末現在で 1.71 倍、全国が 1.27 倍。

テレビの報道等で人手不足の数字が全国 1.27 倍、石垣市が 1.73 倍と、ステージの違った人手不足の状況が石垣市の中にあります。

事業者の皆様も様々な工夫を行っており、賃金を上げる、勤務時間の調整などを行っています。幹事会でもあったアプリのタイマーを使って隙間時間に仕事をするといったマッチングの民間のアプリもあります。企業の雇用管理を上げて、人を確保しようというのがここ 1.2 年続いています。足りない中でも工夫したりし対策を行っています。市と協力し説明会を開き求職者を掘り起こすことに取り組んでいます。引き続き行っていきます。

副会長
大瀨氏

続きまして、市から物価高騰の補助金を出したり、公庫よりマル経融資を行ったりしております。

金融機関から見た現状につきまして、金融公庫の支店長。

3 銀行にも後ほどお聞きします。

沖縄振興開発金融公庫
仙野氏

物価高騰につきまして、はじめに景気動向調査を続けることが大事だと感じました。事業者の声が反映された資料になるので政策等に活かせると思います。商工会にあっせんしていただいているマル経融資の石垣市商工会の状況は、県内でもトップクラスの件数と金額です。令和6年度に利子補給事業を行うことで、事業者の利子補給という面では金利軽減、資金繰りはとても効果が出てくると考えております。

物価対策については、各事業者さんが価格の引き上げを思い切っ
てやる必要があります。

八重山、石垣については、観光含めポテンシャルが高い中で必要な価格転嫁をどんどん行っていくべきで、融資の相談についても個々の事業者にアドバイス等を行っているのが現状です。

副会長
大瀨氏

続きまして、琉球銀行からお願いします。

琉球銀行
比嘉氏

人手不足なり物価高騰なり、石垣市の成長の為には、物価高騰、賃金上昇、マイナス金利が解除になり、貸付自体の金利が上がっていく中で、成長の過程の為にはどうしても避けられない問題なのかなと思いました。

当面は、銀行としても据え置いたり、支援したりを方針としていますが、これがいつまで続くかは断定できないので、価格転嫁に進むべきなのかという意見があります。金融機関としても危惧しています。お客様の意見も聞きながら対応していくことを検討しています。

副会長
大瀨氏

続きまして、沖縄銀行をお願いします。

沖縄銀行
松原氏

沖縄銀行としても、物価高騰と人材不足で課題を抱えている事業者の資金繰り支援を行っています。

人材不足に関しましては、様々な業種で変わってくるかと思いますが、銀行として把握しているビジネスマッチングに力を入れています。おきなわフィナンシャルグループとして、銀行だけでなく、DX化支援、キャッシュレス化支援、そういった取組支援を行っています。様々な事業等にも環境状況に応じて課題が出てきます。銀行として何ができるのか、おきなわフィナンシャルグルー

プとして何ができるのかを共有したいと考えています。

副会長
大瀨氏

続きまして、海邦銀行お願いします。

海邦銀行
阿波根氏

現状は、金融支援がメインとなります。
支払軽減の相談はまだあります。新規の融資相談もあります。2
極化してきています。価格転嫁を上手くできている所もあるし、
できない所にはできない理由があつて、銀行として真摯に対応を
行っています。

副会長
大瀨氏

ハローワーク、金融機関の施策等を含めお聞きして、各団体に意
見をお聞きしたいと思います。
中央商店街振興組合お願いします。

中央商店街振興組合
金城氏

去年のコロナ明けから、お客様はだいぶ動いている実感がありま
す。
個人店に聞きましたが、以前よりも上がっています。
人材不足では、お客はいるが従業員が足りずお店を早めに閉めて
いるのも見受けられます。

副会長
大瀨氏

続きまして、中小企業家同友会お願いします。

中小企業家同友会
宮良氏

同友会としては異業種なのでまとめたことはないですが、資料
にもあった DX、IT 化は効果はすぐに出ますが、若手がいなくて
働く人の年齢も高いため IT や DX が入れづらい状況があります。
仕事を小分けにして隙間時間に入ってもらうのも大事ですが、関
わった人がスキルの向上にならず付け焼き刃となると考えます。
会社の中で仕事に向き合い育てることで、長い目で見て石垣の会
社が強くなると考えます。

副会長
大瀨氏

タイミーの話も出たので、飲食業生活衛生同業組合お願いします。

飲食業生活衛生同業組合
大野氏

組合として、タイミーという民間のアプリを使用し、隙間時間に
人材不足を確保しています。タイミーは様々な業種にも活用でき
ます。新規雇用や長期雇用にも繋げることもできます。新しいや

り方をどんどん取り入れるように進めています。また、価格転嫁を推進しています。そうしないと生き残れません。お客さんに対して明確にし、ただ値段だけを上げるのではなく、それに見合ったサービス、料理の質を高めることでお客さんを納得させて価格転嫁ができていくのではないかと思います。

副会長
大瀨氏

価格転嫁の話から、観光関連では、コロナ渦からの回復はあるが、利益がないといった現状をお願いします。

観光交流協会
高橋氏

去年は、観光業としてはコロナ渦前よりも売上高はいい、だが儲かってはいません。人がいないので賃金を上げなくてはなりません。物価も高騰しています。融資の返済も始まっています。コロナ渦より売り上げても、利益を見ると届いていないのが実情です。

価格転嫁では、色々施策を練っていますが、石垣の観光の実情は違って、例えば北海道ニセコ辺りではインバウンド外国人客が中心の所はラーメンが一杯 3,000 円、牛丼が 3,000 円と平気であげられます。お客様も外国人客も円安の状況で全然高くないじゃないかと平気で購入してもらえる状況です。同じことを石垣で行うと地元の方の価値観もあり、8割は日本人の観光客なので価格転嫁をどのようにするのかを観光地として生き残っていくには慎重に行う必要があると考えます。

副会長
大瀨氏

続きまして、人材育成に取り組んでいる青年会議所をお願いします。

青年会議所
砂川氏

人手不足の面で、資料にもありましたが青少年に向けた、石垣でどのような仕事があるのか、職業を知らない子に未来の選択肢が広がるように職業体験会を今後開いていきたいです。
島の未来に向かって繋げていけたらと思っています。

副会長
大瀨氏

続きまして、漁業協同組合をお願いします。

漁業協同組合
伊良部氏

人材不足は漁業でも深刻な問題です。1人でできる漁業は良いですが、人数を必要とするマグロはえ縄の穴埋めとして特定技能実習生 17 名のインドネシア人を採用しています。漁協でも加工担当で技能実習生 4 名を雇っています。どうにか事業を回している

状況です。

物価高騰については、燃料、氷、資材に積極的に価格転嫁をしています。その分漁業者に負担はいきますが、市から補助していただいて漁業者の負担を軽減しています。

副会長
大瀨氏

牛の競り値が大変とあり、農林水産商工部長お願いします。

農林水産商工部長
棚原氏

畜産業については、飼料の高騰で影響を受けている状況です。子牛生産農家は、子牛の競り価格が数年前に比べると平均半分以下になっています。事業を打ち出していますが、経済の変動についていけません。農業全体では、人手不足、農業従事者の高齢化が進んでいます。石垣島の土地の70%が農地ですが、遊休農地が増えています。農業生産自体が落ち込んでいます。若い方の就農が減っていて農地が荒れています。市として遊休農地の活用や新たな生産拠点などの構想はありますが、年月と資金が必要でタイムリーな支援には繋がらないです。行政としては地道に行います。

建設業は、現場主任資格を有している方が60歳を超えてきています。若い人材がいらないため、石垣の建設業が無くなっていくのではないかと建設業界からお聞きしています。現場主任が2つ、3つと現場を抱えているが、これがいつまで続くかわからないのが現状です。市としても建設業の魅力の発信を行っています、なかなか効果は出ていません。行政側から見ると、どの産業も業態のあり方の見直しが必要ではと思います。生産年齢が上がっているのが現状です。人口5万人を達成したとしても、働き手がいなくても生産年齢の減少が要因かと思っています。市としても、ハローワークと共に働き手のあっせんを行っています。粘り強く実施し、人手不足解消に繋がればと考えています。

観光交流協会、高橋氏にお伺いします。

資料内にある、宿泊業で「人手不足により、レストランの需要に供給が追いつかない。また、周辺離島の観光受入制限に伴い、募集团体の設定が減少している。」とは具体的にどういったことでしょうか。

観光交流協会
高橋氏

人手不足のため、例えとしてレストランとしてのキャパが100席に対して30席限定にしています。また営業時間を短くして、少ない人数で対応できる時間のみの対応をしています。募集团体は

必ず夕食がついてくるのですが夕食を取らせる場所がないため、限定せざるを得ないといった意見になります。

農林水産商工部長
棚原氏

ツアー自体も減少しているのですか。

観光交流協会
高橋氏

今年から旅行会社も力を入れているので増えています。それに伴い夕食のとり方が変わってきています。全員を無理に夕食をとらせなくても夕食をフリープランにするなど、各旅行会社さんも工夫して、できる限り石垣に送るようにして、食事も散らせるようにするなどを行っています。

副会長
大瀨氏

企画部として、市の方向性を含めてお願いします。

企画部長
嶋田氏

取組状況と今後のプランについて簡単にご説明いたします。
人手不足について、資料からもあるように若手の人材が不足していることから、継続的な若手の雇用に力点を置いて取組を進めています。具体的には大学誘致です。その先の就職、雇用の確保にも繋げて行くことが重要と考えています。今年の2月にZEN大学と連携協定を結び、通信制の大学とあって、授業料も安いことで、石垣に住みながら大学の講義をオンラインで受けられます。大学と協力し、講義の中でフィールドリサーチを考えています。石垣に全国から学生が来ていただいて企業の方々と連携しながら就職体験をして、気に入っていただけたら就職してもらうような取組ができないか調整しております。継続的な雇用確保に繋がると考えています。他の大学とのキャンパス誘致をしている状況です。

観光業はリーディング産業であるので国際線の再開を早急に取り組むことが課題となります。保安検査員の不足で、カンフル剤として保安検査員の規制緩和、外国人労働の導入を国と調整中です。必要な施策は時期を待たずに対応を進めています。

物価高騰については、各銀行からもありましたが、市としても必要な価格転嫁はしていただきたいです。一方で利益が出るかがわからない状況としまして、市として総合計画の中で記載している通り、スマートシティ作りを推進しております。DXの中でキャッシュレスというイメージの分かり易いものがありましたが、もう少し複雑な制度を活用し利益が上がる仕組みができないか検討中

です。スマートシティの事業作りとして、モデル事業を展開し、見ていただいて利益に繋がるのであれが導入を検討していただくような流れを運用していけたらと思います。市として DX、IT を目に見えるように示していけるよう仕組み作りを検討しております。それに関して予算、規制緩和等の課題を総合的に運営し進めているので、関係団体と共有させていただけたらと思います。

副会長
大瀨氏

福祉関係も人材不足で大変と伺っています。
福祉部長お願いします。

福祉部長
南風野氏

福祉の現場においても人手不足は課題となっています。
人手不足の中でも、少子高齢化で影響があるのではないかと思います。少子の部分では令和元年頃から出生数が減ってきています。高齢者の皆様は増えています。そういった状況の中で福祉サービスを低下させないように、サービスを提供していかなければならないと考えています。保育現場では、保育士の成り手が少ない状況があります。子どもの定員が 60 名のところ保育士が少ないため 50 名しか受入れられません。あるいは、介護の現場においても介護職員が少ないため受入れの減少があります。いかに福祉サービスを維持、向上を進めていくかの中で人材を確保していくかが大事かと考えています。保育の現場においては企画部長からもありました地元で人材を確保していく中では保育士養成校、5.6 年経ちましたが 30 名くらいの保育士を確保してきています。介護人材についても県や国、市の研修事業を使用し、介護職が従事しやすいような研修に取り組んでいます。なかなか人材確保には至っていません。保育や介護もそうですが、外から来た人がなかなか定着しづらいのが厳しい状況です。専門人材を確保していくのが重要な課題だと認識しているので、これからも継続して取り組んでいきます。
価格高騰については、福祉現場で働いている車両のガソリン価格が上がっている。補助を継続して、適切に対処していけたらと思います。

副会長
大瀨氏

最後に総務部長お願いします。

総務部長
翁長氏

市役所の中での人材不足というのは見当たらないです。
地方公務員法改正により定年延長制度が今年よりスタートしま

す。部課長をした役職の職員が段階的に 65 歳が定年となる制度となります。

消防職員も同様な制度が導入されます。三重県の桑名市ではいい取組がありまして、人手不足の面で消防職員は大型免許を所有していることから、バスの運転手やタクシー運転手に転化できないかということで、桑名市ではバス会社と協定を結び定年延長で消防に残るのではなくバス会社に転職するような取組を行っています。観光バスの運転手確保にもつなげています。石垣市としても 60 歳の求職者が増えてきていることを踏まえて、連携できないか考えていけたらと思います。

副会長
大瀨氏

一通り周りしましたが、ご意見があれば人材不足、物価高騰以外でもなにかありますか。
琉球銀行お願いします。

琉球銀行
比嘉氏

人手不足で求人の倍率がありましたが、親の介護、障がいを持っている家庭で働きたくても働けない人がどれだけいるか数字があれば教えていただきたいです。

公共職業安定所
内野氏

現状、マッチングでは、これだけ人手不足になると求職者のほうが売り手市場で強く、条件を言いやすいのが状況です。給料が高い会社が人気かというわけではなく、企業の働きやすさ、休みがどれだけあるか、給料だけでなくどれだけ働きやすいかのニーズがあります。女性を中心に多いです。働けない人の人数の数値はないです。

資料の説明でもありました、市との協定で就職説明会を行ってきました。就職者数が少ないと感じられると思いますが、これは説明会に参加された企業に就職された数字です。介護の説明会で未経験者が説明を聞き、他の介護事業者に就職したケースも多いです。働けない条件がありますが、それを相談員が企業側に求職者の条件を提示し、マッチングしているという例もあります。

この説明会を通して求職者の掘り起こしを行っており、かなり有効なものにはなっています。

副会長
大瀨氏

それでは私からも質問させていただきます。
金融関係でリスクが大変な企業もあります。ゼロ金利政策が解除になって金利を上げることはありますか。

琉球銀行 比嘉氏	銀行の金利は変動金利で対応しています。日銀が発表した中では0%から0.1%の間で、3ヶ月ですぐ上がるようなことはありません。 物価上昇を見ながら上がっていくかと思います。
副会長 大瀨氏	他にご質問はございますか。 中央商店街振興組合から何かありますか。
中央商店街振興組合 金城氏	組合員の不足です。最盛期は60、70組合員でしたが、現在は半分の35組合員です。県外から若い人が入ってきて組合に入る魅力がないことから入りません。組合としては縮小しているのが現状です。
副会長 大瀨氏	他にご質問はありますか。 観光交流協会お願いします。
観光交流協会 高橋氏	労働力不足で島内の労働力が限られています。 今後考えていかないといけないのが、外国人労働力と県外からの労働力です。 そこで生じる問題が住まいです。各企業が社員寮を作ろうと考えても建築コストが高いのですぐに寮を建てられません。他の市区町村の行政で行っている、空き家を有効活用していただいて県外の人達に石垣に住んでみませんかといった取組を市として行っていくことで状況も変わってくると思います。
農林水産商工部長 棚原氏	石垣市としては以前から空き家バンクを行っています。石垣市では空き家を人に貸すことが非常に難しいです。仏壇があり、お盆や節目に帰って来て法事をするといったことがあるため難しいです。北部地域の空き家の登録はありますが活用できるような物件ではありません。 社員寮や宿泊の寮についても石垣市において建築する土地がありません。ほとんどが農業振興地域に入っていて、農振除外手続きに3、4、5年とかかってしまいます。そういった課題があることから石垣市では総合計画、都市マスタープランにおいて、緩やかな居住地域を設ける地域を設定しているので、徐々に進んでいくものと考えています。
副会長	国際線の話も出たことから市としてどの様に話を詰めているの

大瀨氏

か、台湾との国際線、定期航路を進めたい、引き続きお願いしたいです。また、ナッチャン Rera についてお願いします。

企画部長
嶋田氏

国際線の再開について、観光業はリーディング産業で再開に向けて調整をしています。保安検査員不足にメスを入れて積極的に協力していくところであります。

台湾とのフェリーでの定期航路を検討している状況です。企業誘致は進んでおり、定期航路は実現の可能性が高いです。ナッチャン Rera は現在ギリシャの船会社に所有権が移りましたが、市として所有する訳ではなく、チャーター契約、BBCHP 契約の内容を踏まえながら引き続き交渉しています。定期航路についてはナッチャン Rera を目的にしたものだけではなく、台湾との交易を活性化することを目的とした意味での定期航路です。他の候補船も交渉は行っていますが、まだ公表するまでに至っていないのが現状なので時期がきましたら公表させていただきます。本市としても力を入れて取り組んでいきます。

副会長
大瀨氏

皆さんの貴重なご意見ありがとうございました。

アンケートも含めて幹事会の交流も非常にいい事ですので事務局として引き続き続けていただきたいと思います。

4
閉会

商工振興課
多宇

本日は貴重なご意見ありがとうございました。

次年度以降の中小企業支援の施策、企画・立案の中で活かしてまいりたいと思います。

以上